

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

**メタウォーター株式会社**（証券コード:9551）

## 【据置】

長期発行体格付	A+
格付の見通し	安定的
債券格付	A+

## ■格付事由

- 08年4月に日本碍子と富士電機それぞれの水環境事業子会社が合併して発足した総合エンジニアリング会社。浄水場や下水処理場などの施設や電気設備の設計、建設、運転・維持管理を手掛け、機電融合の技術力や維持管理ノウハウ、ICTなどを生かしたトータルソリューションの提供に強みを有する。なお、25/3期から報告セグメントを変更しており、環境エンジニアリング事業（24/3期売上高比率32%）、システムソリューション事業（同32%）、運営事業（同17%）、海外事業（同19%）の4セグメントからなる。
- 良好な事業基盤に変化はない。大型案件の受注などにより、受注高の推移は堅調である。国内浄水場や下水処理場の運営を手掛ける運営事業が安定収益源として当社の業績を下支えしている。また、米国子会社を中心に海外事業も伸長している。今後も、機械設備関連の環境エンジニアリング事業や電気設備関連のシステムソリューション事業を基盤に、運営事業や海外事業が成長をけん引していくと考えられる。財務基盤は良好で、引き続き安定した状態を維持できよう。以上より、格付を据え置き、見通しを安定的とした。
- 24/3期は売上高1,655億円（前期比9.9%増）、営業利益99億円（同14.0%増）と、本業ベース（21/3期の退職給付株式売却影響を除く）では過去最高を更新した。25/3期の会社計画では、営業利益90億円（同9.1%減）と、人的投資やDX投資などのコスト負担により減益となる見通し。中長期的には、高い競争力を背景に底堅い受注の獲得が見込まれ、業績は堅調に推移していくことが見込まれる。中期経営計画（25/3期～28/3期）で掲げるウォーターPPPへの対応力強化やエンジニアリング改革の取り組みにより、さらなる収益力強化へつなげていけるか、注目していく。
- 24/3期末の自己資本比率は43.2%（前期末45.7%）と健全な水準にある。売上が第4四半期に集中することや案件が大型化していることにより、期末時点の営業キャッシュフローは悪化している。ただ、顧客は自治体が大半であり、売上債権の回収懸念は小さい。中期経営計画では累計400億円の成長投資が行われる計画だが、公共事業を手掛ける特性上、一定の財務規律を遵守していく方針であり、財務構成が大きく悪化する可能性は低いと考えられる。

（担当）里川 武・喜多村 早織

## ■格付対象

発行体：メタウォーター株式会社

## 【据置】

対象	格付	見通し
長期発行体格付	A+	安定的

対象	発行額	発行日	償還期日	利率	格付
第1回無担保社債（社債間限定同順位特約付）（ブルーボンド）	100億円	2023年12月7日	2028年12月7日	0.734%	A+

## 格付提供方針等に基づくその他開示事項

1. 信用格付を付与した年月日：2024年9月24日
2. 信用格付の付与について代表して責任を有する者：窪田 幹也  
主任格付アナリスト：里川 武
3. 評価の前提・等級基準：  
評価の前提および等級基準は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」(2014年1月6日)として掲載している。
4. 信用格付の付与にかかる方法の概要：  
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」(2024年2月1日)として掲載している。
5. 格付関係者：  
(発行体・債務者等) メタウォーター株式会社
6. 本件信用格付の前提・意義・限界：  
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。  
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関してのJCRの現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。  
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCRが格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
7. 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：
  - ・ 格付関係者が提供した監査済財務諸表
  - ・ 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
8. 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：  
JCRは、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
9. 格付関係者による関与：  
本件信用格付の付与にかかる手続には格付関係者が関与した。
10. JCRに対して直近1年以内に講じられた監督上の措置：なし

## ■留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果、的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいております。JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

## ■NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会の定めるNRSRO (Nationally Recognized Statistical Rating Organization) の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則17g-7(a)項に基づく開示の対象となる場合、当該開示はJCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/en/>) に掲載されるニュースリリースに添付しています。

## ■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL: 03-3544-7013 FAX: 03-3544-7026

## 株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.  
信用格付業者 金融庁長官(格付)第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル